

## ～働き方改革～多様で柔軟な働き方に向けた環境整備を推進

### 1 取組みの概要

現在、日本は人口減少社会に突入していますが、これから企業が人材を確保していくためには、介護や子育てなど様々な事情を抱えた方々が働き続けることができる労働環境の構築が必要であり、また、企業に人材が定着するためには、派遣や臨時といった非正規雇用ではない、正社員としての雇用が必要です。

県では、平成29年度に正社員化・働き方改革推進室を新設し、全国に先駆け、若者の正社員化と非正規雇用労働者の所得向上を一体的に推進する新たな奨励金を創設して、県内企業における正社員化などの取組みを支援するとともに、正社員雇用を希望しながらやむをえず非正規雇用として働いている方などに、研修やカウンセリングなどを実施し、正社員化に向けた支援を行っています。

また、働き方改革啓発セミナーの開催や企業へのアドバイザー派遣を通し、多様な正社員制度（勤務時間限定、勤務地限定、職務限定など）やフレックスタイム制度など、労働者それぞれの事情に応じた多様で柔軟な働き方について、情報提供や導入にあたっての助言を行っています。

### 2 担当職員へのインタビュー

雇用対策課

正社員化・働き方改革推進室

正社員化推進主査

濱本 幸樹

【採用職種：行政】



#### Q 現在の担当業務を教えてください

主な業務として、派遣や臨時といった非正規雇用の方の正社員化や所得向上の取組みを行う企業に支給する奨励金事業を担当し、奨励金の支給申請に対する審査・支払事務を行っています。また、普及啓発のため、事業者団体などが行う総会や研修会で事業説明を行ったり、県内企業を訪問したりしています。

#### Q 皆さんへのメッセージをお願いします！

県職員の仕事は多種多様ですが、どれも、今の、そしてこれからの山形県をつくるために大事なもののばかりです。こうした仕事を通じ、成長していくことができるのは素晴らしいと思いませんか。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

#### Q 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

不景気が長く続いた影響で、県内には、正社員雇用を希望しながら非正規雇用として働いている方がたくさんいます。一方、経営する側にとって正社員化は、将来的な経営にも関わる判断が必要なことです。そのような中、この奨励金が多少なりとも正社員化への決断を後押しするものとして役立つと思うと、大変やりがいがあります。

また、県職員の仕事は、産業振興や雇用対策、少子化対策や公衆衛生、危機管理やインフラ整備など多岐にわたり、実に様々な仕事です。定期的に人事異動がありますが、多様な仕事に携わりながら経験を積んでいくことができるのは、県職員の魅力の一つだと思います。様々な仕事に携わることで、多くの知識を吸収し、視野を広げていくことができます。さらに、多くの人との出会いは、自分の生き方に刺激や影響を与えてくれます。県職員の仕事は、このような機会に恵まれていると思います。

